

三谷坂



かつらぎ町・かつらぎ町教育委員会

かつらぎ町教育委員会生涯学習課 TEL:0736-22-0303
かつらぎ町産業観光課 TEL:0736-22-0300

お問合わせ

かつらぎ町	7:29	丹生酒造 2	丹生酒造 2
かつらぎ町	9:50	丹生酒造 2	丹生酒造 2
かつらぎ町	10:19	丹生酒造 2	丹生酒造 2
かつらぎ町	12:29	丹生酒造 2	丹生酒造 2
かつらぎ町	13:59	丹生酒造 2	丹生酒造 2
かつらぎ町	16:00	丹生酒造 2	丹生酒造 2

大和・奈良方面	30分	和歌山JCT	和歌山JCT
奈良方面	40分	和歌山JCT	和歌山JCT
和歌山方面	60分	和歌山JCT	和歌山JCT



交通アクセス

其ノ壱 高野山への誘い

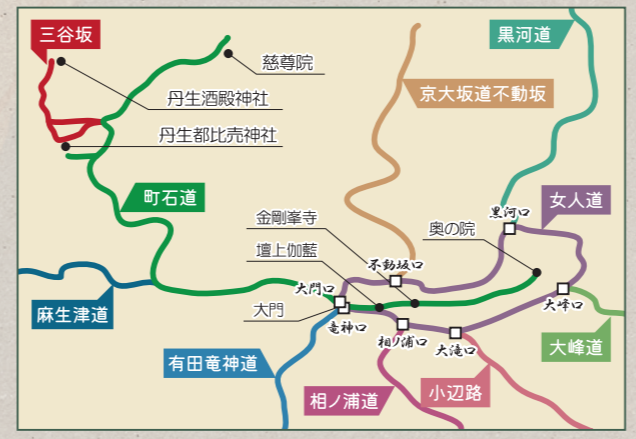
おん あびらうんけん ばぎらだとぼん
(すべての宇宙を包み込む仏と、絶対に傷つかない悟りを得た仏を信じよ)

右の真言に表された三仏一体の大日如来の悟りは秘されて奥深く、真実であると説いた真言宗の開祖、空海(774~835)。彼は、京の東寺とともに修禅道場として高野山金剛峯寺をのこした。一時荒廃の危機もあったが、人々の篤い信仰を支えられ現在もその灯は受け継がれている。

高野地域にのこる神と仏が融合した文化と数々の不思議な伝説……そこに行けば、あなたも気づき(悟り)を得られるかもしれない。

其ノ貳 高野七口と参詣道

高野山の七つの入口と、各入口につながる参詣道。参詣道に至るまでの行程も含め、人々は何日もかけて高野山を目指した……あなたは、どの道でお参りする？



紀伊山地ノ霊場ト参詣道ノ図



女人禁制の歴史を語る道

女人道 によにんみち
かつて高野山は女性の立ち入りを厳しく禁じていた。想いを募らせる女性たちのために山内への各入口に女人堂が設けられ、この場所から祈りを捧げた。またそれらをつなぐ女人道が巡っていた。



相ノ浦口

高野嶺の産地(相ノ浦地区)から
相ノ浦道 あいのうらみち
信長の重臣 佐久間信盛が住んだとされる相ノ浦集落と、山上の内子谷川水源を結ぶ。

竜神口

熊野古道「中辺路」から
有田竜神道 ありだりゅうじんみち
熊野参詣道の「中辺路」から分岐、山上の竜神口に至る道。かつらぎ町花園新子地区には宿屋が4軒もあった。

大峰口

吉野大峯から
大峰道 おおみねみち
吉野の洞川から山上の奥之院に至る道。修験との関わりが深く、役行者を浮き彫りした道標も分布する。

大滝口

熊野三山から
小辺路 こへち
熊野本宮大社から山上の金剛三昧院参道脇に通じる全長72kmの道。熊野参詣道でもあり石畳を有するのが特徴で、石仏なども点在する。

不動坂口

京や堺から
京大坂道不動坂 きょうおおいさかみだらば
京・大坂・堺の高野街道が合流し、高野山眼前で坂となる道。室町時代ごろから参詣者が多くなり、宿屋や茶屋で賑った。

黒河口

大和国から
黒河道 くらこみち
麓の賢堂と山上の千手院橋を結び、大和からの参詣者が多かった道。秀吉が通ったとされ、地域の産物奉納「雑事のぼり」にも利用された。

大門口

高野山の正面玄関
町石道 ちやういしみち
高野参詣道の表参道。根本大塔を起点に麓の慈尊院方面と山上西端の奥之院方面に、約109m(1町)ごとに石製の本塔婆が建つ。

三谷坂

丹生酒造神社起点、町石道に合流。
三谷坂 みたにざか
丹生酒造神社の神主や勅使も利用した。傾切地藏などの石仏もあり、神仏の融合文化が色濃くのこる道。

麻生津道

大和街道の高野辻から分岐、町石道に合流。六地藏が祀られる。